



TITLE:

# 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 23

AUTHOR(S):

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 23. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1954, 23: 19-23

ISSUE DATE:

1954-08-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186856>

RIGHT:

水族館

京都大学瀬戸臨海実験所振興會  
水族館月報

No. 23

1954. 7月 (8月5日)

録 事

例年以上にうっとうしい長雨が月の終りまで続いて、今年は淋れに夏だろうと予想されていたが、青空が待ち切れない都會人は海辺を求めて白浜に殺到する。昨年夏は水管のため鉄道不通という事態もあつて、観光客も少なかった。幸に今年はそのような事も到らず、水族館は特に月変りな団体客、それも大半は規定以上の割引を要求する客や、海水浴に来た諸学校の団体等が多くて相当に賑つた。

雨量も今月は209.6ミリで、昨年の半ばに過ぎず、昨年のような豪雨がなかつたために、先月末のかつての博物館横の雨水吸収溜池の工事も順調に進んで、月末迄に石垣で周囲をめぐらした約80平方メートルの空池が出現することとなつた。残るところは、ここに導入する排水路の土管工事である。掘り出した砂は、構内の松林や研究室前の道路の低い所に盛り上げたので、降雨時水浸しとなるのを多少なりともまぬかれることが出来るようになったのも、これのおかげである。

このうえ更に整地や植樹などすることによつて、一段と美観を増すこととなるであらう。博物館前芝生の中にある池のスイレンは、このごろ毎日可憐な花を咲かせて、道行く人々にほほえみかけている。

業 務 概 況

◎ 7月の入場者数

| 区 分   | 水族館 発券数         |       | 観光バス 発券数 |       | 合 計   |       |
|-------|-----------------|-------|----------|-------|-------|-------|
|       | 本月分計            | 累 計   | 本月分計     | 累 計   | 本月分計  | 累 計   |
| 大 人   | 2832            | 21227 | 4927     | 44060 | 7759  | 65287 |
| 小 人   | 270             | 1693  | 133      | 660   | 403   | 2353  |
| 団 体   | 5641            | 25669 |          |       | 5641  | 25669 |
| 合 計   | 8743            | 48589 | 5060     | 44720 | 13803 | 93309 |
| 無料入場者 | 交換学校(清水小学校)生徒其他 |       |          |       | 277   | 541   |

|               |                        |
|---------------|------------------------|
| ◎ 7月の収入       | (累計)                   |
| 観覧券売上金.....   | 230,220..... 1,715,863 |
| 雑収入.....      | 255..... 9,319         |
| 6月1日の繰越し..... | 355,062                |
| 計             | 585,537                |

◎ 7月の支出  
一般経費

| 費目別   | 金額      | 累計      | 備考     |
|-------|---------|---------|--------|
| 人件費   | 50,084  | 257,591 |        |
| 光熱費   | 9,747   | 31,558  |        |
| 消耗品費  | 5,240   | 16,096  |        |
| 備品費   | 5,480   | 16,510  |        |
| 修理費   | 11,335  | 30,298  |        |
| 賃料費   | 18,920  | 61,555  |        |
| 厚生費   | 2,255   | 7,440   |        |
| 借入損料費 | —       | —       |        |
| 諸税公課  | 1,500   | 2,451   |        |
| 租費    | 870     | 2,085   |        |
| 通信運搬費 | 1,180   | 5,534   |        |
| 研覧費   | 3,000   | 12,000  | 施設は7月分 |
| 旅費    | —       | 220     |        |
| 合計    | 109,711 | 445,138 |        |

水族館改善費..... 支出皆無

実験所費

| 費目別   | 金額  | 累計      | 備考 |
|-------|-----|---------|----|
| 印刷費   | —   | 350,000 |    |
| 備品費   | —   | 146,000 |    |
| 設備修理費 | —   | 450     |    |
| 特別費   | 960 | 9,720   |    |
| 合計    | 960 | 506,170 |    |

博物館費

| 費目別  | 金額     | 累計     | 備考       |
|------|--------|--------|----------|
| 人件費  | 4,100  | 18,485 |          |
| 消耗品費 | —      | 170    |          |
| 修理費  | 5,960  | 6,330  | 合計28,777 |
| 備品費  | —      | 2,165  |          |
| 合計   | 10,060 | 28,150 |          |

## 積立金

| 費目別      | 金額     | 引出高    | 現在高          | 備考                          |
|----------|--------|--------|--------------|-----------------------------|
| ベースボール資金 | 9,100  |        | 114,600      |                             |
| 賞与資金     | 9,100  |        | 71,434       |                             |
| 厚生資金     | 1,500  |        | 8,352        |                             |
| 災害財産備金   | 25     | 10,000 | 625,436.54   | 南大=貸出10,000.<br>賞与返済3000212 |
| 会議費積立    | —      |        | 20,865       |                             |
| 積立基金     | 58,370 |        | 285,970      |                             |
| 合計       | 58,095 | 10,000 | 1,126,657.54 |                             |

## 支出合計

(累計)

|        |         |         |
|--------|---------|---------|
| 一般経費   | 109,711 | 445,138 |
| 水族館改善費 | —       | —       |
| 実験所費   | 960     | 506,170 |
| 博物館費   | 10,060  | 28,150  |
| 積立金    | 58,095  | 417,802 |

計 178,826 1,397,260

7月末現在高 406,711

支出累計 1,397,260

## ◎ 前年度との比較

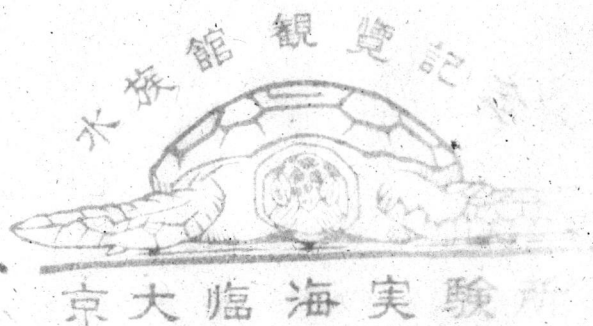
|      | 1953    | 1954    | 増減        |
|------|---------|---------|-----------|
| 入場者数 | 5694    | 13,803  | + 8109    |
| 売上金  | 104,115 | 230,220 | + 126,105 |
| 支出金  | 251,679 | 178,826 | - 72,853  |

## 水族館記事

- ◎ 例年の如く、7月はアカウミガメが産卵のための実験所の浜に夜間上陸をするのだが、早くも11日には種賀弥之助氏によってノ頭、18日には折から臨海実習で実験所に宿泊中の阪大学生連中によって2頭、25日には京大学生連中によって1頭発見され、いずれも水族館の大プールに収容された。
- ◎ そのため屋外のプールにあるもの7頭、屋内のプールにあるもの4頭（内ノ頭はアオウミガメ）、他に小型のアイマイノ頭、アオウミガメ2頭あり、併せてノ頭の大小のウミガメが水族館に飼われているというのも一つの偉観であろう。
- ◎ 今月10日またもや入ったジヤノアメフラシの大形個体が、23日正と晩の間に、水槽不足のため同居させていたヤドカリ(Pagurus, Aniculus)数匹によって、残らず喰いつくされているのはビックリ

した。餌(魚肉片)は充分と思われるほど与えてあるのに、好物の軟体動物の内と見たら、生きていようがおかしいのに武者ぶうつくものと見える。

- ◎ 女月中旬頃入手の巨大なハモ(月報 no. 21, p. 10 参照)が 7/16 日遂に死した。背中に深傷を負っていたので"永くはもつまいと思われていたのが、水槽中で 59 日間生きのびたのだから、以て 腹すべきであろう。
- ◎ 夏の景物 ミノカサゴ が 3 尾 20 日前後に相次いで入り、盛んにカノラマンの対照となっている。
- ◎ 戦前明光バス會社の手により発売されていた牧野四子畫伯描くところの熱帯魚の繪筆書の殘品を譲り受け、委託販売を始めたところ、幸いに好評で、夏中には賣切れそうである。来館者の希望が多いので来年度は是非とも、もつと立派な生態寫眞の繪筆書又はパンフレットを自分で作りたいものだ。
- ◎ 今月新たに次のような記念スタンプ(内海委製作図)2 種を作り、入口にそなえつけて来館者に自由に利用されるようにした。



## 資 料

### ◎ 7月の気象

|          | 上 旬                      | 中 旬                      | 下 旬                      |
|----------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 晴天日数(12) | 3                        | 3                        | 6                        |
| 気温(℃)    | $\frac{23.0-25.1}{24.2}$ | $\frac{22.5-26.3}{23.7}$ | $\frac{24.8-28.0}{26.3}$ |
| 水温(℃)    | $\frac{22.7-24.6}{23.5}$ | $\frac{22.8-24.0}{23.4}$ | $\frac{24.0-26.4}{25.0}$ |
| 比重       | $\frac{13.6-22.5}{20.1}$ | $\frac{19.9-21.8}{21.2}$ | $\frac{20.5-22.2}{21.5}$ |

但( { 気温は南水槽  
水温はNo.24水槽 } で10時に測定  
比重 )

## 来 訪 録

岡田誠三氏(朝日新聞社学藝部) 松尾英世氏(同写真部)  
———京大動物学教室の波部忠重氏(実験所員)と共に  
来所、同氏の指導により貝類其の他の水槽内動物の生態  
写真と撮影。(7.19—21)

撮られた写真の1葉は7月25日発行の同紙上に波部氏  
の記事「貝はどうしてうごくか」と共に発表された。

なお、水槽内の各種魚類の生態写真数葉は7月25日  
発行の産経新聞紙のオタ面を飾り、恒例の如く夏の海辺への  
あじがれをささるに充分であった。

昭和29年8月5日発行 (No. 23)

編集兼  
発行人

内 海 富 士 夫

発行所

瀬戸臨海実験所振興会  
和歌山縣 白浜町  
瀬戸臨海実験所内  
(電話 白浜温泉 515)